

Rドロップス

NEW RETURNABLE
GLASS BOTTLE PROJECT



スタイリッシュなリユースびん”Rドロップス” 導入ご検討資料



充填先の
ライン適性を確認して
設計しました。



炭酸飲料も
充填 OK !

Rドロップスと
お揃いの
栓抜きも
企画中!



びん再使用ネットワーク
(社)全国清涼飲料工業会

Rドロップスの設計と ご検討にあたって



1. 設計

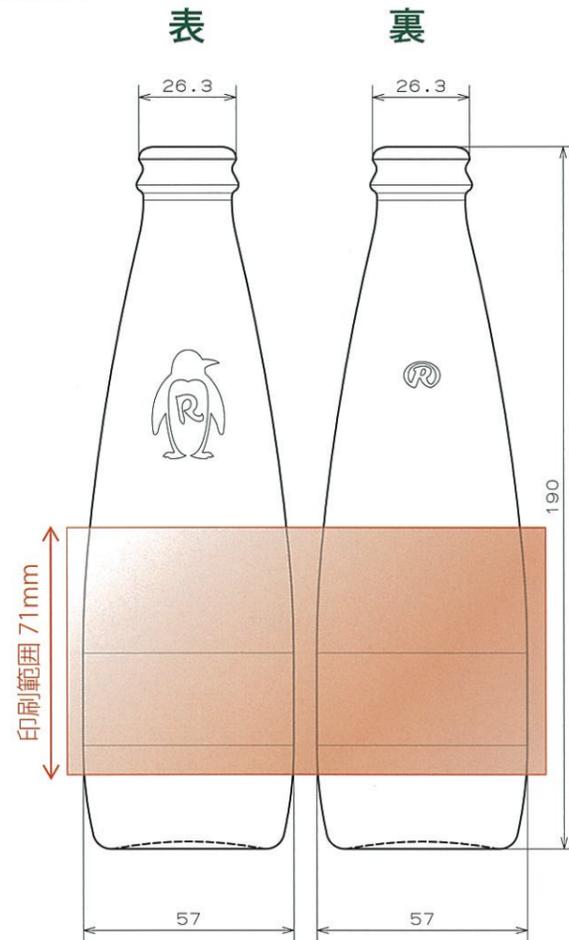
- びん種：リユースびん
- 容量：(満量) 220～230ml
- 質量：245～280g
- L 値(びん軽量度)：1.60～1.95
- 炭酸飲料の充填：可

※容量・びん質量の設定は、現段階では絞り込んでおりません。

※ガス圧・充填条件による、内容物の充填可否の確認は別途、必要となります。

2. 留意事項

- Rマークびん
『Rドロップス』は汎用型のRマークびんを想定しています。(びんを再使用することが前提となります。)
- 金型手配
『Rドロップス』のびん金型は、お客様の採用が正式に決まってからの手配となります。金型費用等は、別途、ご相談となります。
- びん製造ロット
びんの最小生産本数は、基本的に1日生産分となります。

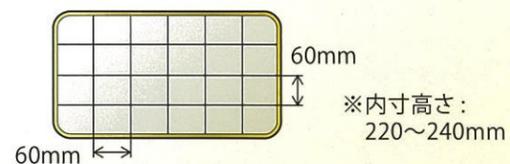


【Rドロップスデザイン案】

※上記デザインは案であり、寸法は確定したものではありません。

適合クレートサイズについて

- 「Rドロップス」は、実際にリユースびんで多く使用されているクレート(P箱)のサイズを考慮して設計しています。
- 以下の仕様のクレートであれば、「Rドロップス」にそのままご使用頂ける予定です。



- クレートサイズ協力企業名(順不同)
(株)コダマ飲料、キンキサイン(株)、(資)森川飲料、中京サインボトリング 協業組合、東京飲料(資)

Rドロップス栓抜きもデザイン!

「Rドロップス」を王冠口で設計するにあたり、ツールとして「Rドロップス栓抜き」をデザインしてみました。

- 「Rドロップス」と併せて、こちらでもご検討頂く事が可能です。
- 詳細はびん再使用ネットワークまでお問い合わせ下さい。

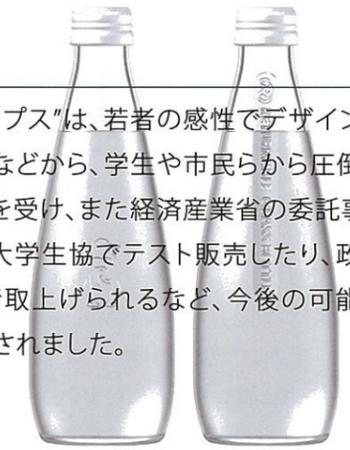
きわみぬき
極抜き®



①「Rドロップス」とは

■ 「Rドロップス」とは、2007年、びん再使用ネットワークが環境活動に取り組む学生やごみ問題の解決を目指す市民団体のメンバーらと一緒に開発した「軽くて、持ちやすく、スタイリッシュで、携帯可能な新しいリユースびんのこと。」R(あーる)ドロップス」という愛称も大学生が考えたものです。

■ 「Rドロップス」は、若者の感性でデザインを優先したことなどから、学生や市民らから圧倒的な支持・共感を受け、また経済産業省の委託事業として3つの大学生協でテスト販売したり、政府の広報番組で取上げられるなど、今後の可能性が大きく期待されました。



②<第2号> 開発の経過

■ ところが、「デザイン優先」ということが逆に現在の設備で使用できる事業者が限られてしまい、実際に事業展開の検討を進めてみると、「消費者は欲しいけれども事業者が使えない」という「壁」にぶつかり、立ち行かなくなってしまったのです。

■ このため、2009年1月、(社)全国清涼飲工業会の協力を得て、「Rドロップス<第2号>開発プロジェクト」準備会合を立ち上げ、「Rドロップス<第1号>」の趣旨を活かしながらも、現在の事業者の生産ラインで使用できるびん形状のデザイン化を目指して開発しました。

③王冠を選んだ理由と栓抜きについて

■ 「Rドロップス<第2号>」の開発にあたり、もっとも悩んだのは、びん口部です。というのも、<第1号>はリキャップできる「スクリュー」タイプでしたが、スクリュータイプのびんを再使用する場合、マシンによるびん口検査をしなければならず、事業者に大幅な設備投資が必要になってしまうからです。

■ このため、今回は、現在の事業者の設備で使えることを優先し、<第2号>では「王冠」仕様を選択することとしました。

■ なお、Rドロップスとお揃いの<栓抜き>も企画中です。この栓抜きは、びん口部を傷つける事なく容易に王冠をはずせるよう特別にデザインされたもので、おしゃれで、しかも栓抜きの技能が追求されたものとなっています。

④今後について

■ 「Rドロップス<第2号>」を使ってみたいという事業者や、「Rドロップス<第2号>」で飲みたいという消費者をどんどん増やして、実導入を進めることが目標です。尚、「Rドロップス<第1号>」を諦めたわけ

ではなく、今後、「Rドロップス<第2号>」が普及し、将来的にリユースがあたり前の社会になれば、「Rドロップス<第1号>」の普及にチャレンジしたいと思います。

Rドロップスに思いをのせて

メッセージ びん再使用ネットワーク代表幹事 中村 秀次

ビールびん、お酒のびん、飲料のびんなど、繰り返し使うことで環境に大きく貢献しているリユースびんですが、今、急速に本数が減少しています。このままでは日本からリユースびんの姿が消えてしまいます。まさに「絶滅危惧種」となっています。

「絶滅しないぞ」と歯を食いしばって頑張っている方々が、全国清涼飲料工業会にご参加のボトラーさんたちです。一方、若者たちが、市民たちが、「絶

滅の危機から救おう」と立ち上がって誕生したのが「Rドロップス」です。

この度、全国清涼飲料工業会、ボトラー、市民団体等のご協力で、すぐにでも「商品化」できるRドロップス第2号の設計図ができました。これを文字通り「絵に描いた餅」に終わらせないように、皆様のご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

メッセージ 社団法人 全国清涼飲料工業会 専務理事 公文 正人

(社)全国清涼飲料工業会では、容器包装に関する3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進自主行動計画に基づき、積極的に活動を行っています。

また、リユース推進活動の一環として、リターナブルガラスびんによる地産地消型製品の普及を目指した「地サイダー用共通リターナブルびん」を開発し、全国各地での展開を図っています。

今回のRドロップスプロジェクトへの参加にあたっては、生産者の立場から、Rドロップス2号が多くの

清涼飲料生産者で容易に取り扱える容器となるよう、当工業会会員社の協力を得て、様々な工程の実態把握を行いました。ボトル設計に際しては、これらのデータが十分に反映されており、充填適性の高いボトルが実現できたのではないかと考えています。

今後、消費者・流通業の皆様を始めとして多方面の方々のご協力をいただき、このRドロップス2号が大きく普及していきますことを期待いたします。

メッセージ Rびんプロジェクト 代表 西村 優子

「Rドロップス」はそのデザインや名称を含め、アンケートやテスト販売など学生や市民も一緒に開発した経緯をもつ画期的なリユースびんです。

ガラスという素材が安心な上、環境負荷が低く、処理費用に税金をつかわない・・・そんな容器の優等生であるリユースびんが減り続けている現状を打開してくれる可能性を秘めています。開発に関わった学生たちが皆、リユースびんの普及に強い関心をもつようになったことを見ても期待が持てると感じています。

今回複数の事業者の方々からアドバイスを

受け、より流通しやすいように改良されて「Rドロップス第2号」が誕生しました。

これによってリユースびん入りの飲料が認知され、より多く流通するようになれば、若者たちが手に取ることも珍しくなくなるかもしれません。

くり返し使えば使うほど、CO₂を減らせるリユースびん・・・「Rドロップス」よ、はばたけ!私たちの真に豊かな未来の実現に向かって!

参加協力者

(社)全国清涼飲料工業会/公文 正人 専務理事、久保田 潔 中小企業部担当部長
 (株)コダマ飲料/池澤 友博 代表取締役社長、(有)戸田乳業/戸田 喜裕 代表取締役、東京飲料(合)/寺田 康夫 代表取締役
 新食工業(株)/石川 浩三 代表取締役、大学生協東京事業連合/関口 晴美 キャンパスライフ事業部部長
 全国びん商連合会/田村 豊也 副会長、笠井 仁志 副会長、(株)吉川商店/吉川 康彦 代表取締役
 東洋ガラス(株)/青野 泰憲 営業企画部長、仲田 望 営業企画部企画開発課長、村井 孝嘉 営業企画部企画開発課課長代理、
 八百幸 玲 営業企画部デザイナー、リターナブルびん普及プロジェクト/西村 優子 Rびんプロジェクト代表
 びん再使用ネットワーク/中村 秀次 代表幹事、寺嶋 英介 幹事役員、山本 義美 事務局

| Rドロップスについてのお問合せ先 |

(社)全国清涼飲料工業会 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目3番3号CMビル3F TEL03-3270-7300 <http://www.j-sda.or.jp>
 びん再使用ネットワーク事務局 〒160-0022 東京都新宿区新宿6-24-20 welship 東新宿6F TEL03-5285-1883 rbin@binnet.org